



南三陸町長 佐藤 仁

東日本大震災から間もなく5年が経過しようとしております。

当町では、東日本大震災の教訓を踏まえて「震災復興計画」を定め、どのような災害に遭遇しても、安全で安心な暮らしを続けることができるように「なりわいの場所はさまざまであっても、住まいは高台に」を基本に創造的復興を目指してまいりました。

平成27年度は、南三陸病院と総合ケアセンターが完成し、また、戸倉小学校の開校により町内の全小中学校が復旧するなど、全世界からの支援により町は着実に復興へと進んでおります。

平成28年度は、災害公営住宅、防災集団移転事業による高台の団地造成完成を目指しておりますが、今後は志津川市街地、伊里前地区における商店街の本設等、産業面での復興も本格化してまいります。

このたび、まちの復興後の将来図のイメージを目に見える形で皆様にお伝えすることで、新たな生活、まちづくりへの活力となればと考えてこの冊子を発行いたしました。

まちづくりは私ひとりあるいは行政のみで進められるものではありません。町民皆様、議会、関係の方々などとの対話を通し、心を通わせ、未来を共有することこそが町の礎を作るものであります。町民皆様におかれましては、創造的復興という本町の挑戦に対し、引き続き御理解と御協力賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

CONTENTS

町長挨拶(南三陸町長 佐藤 仁)	1
志津川市街地(低地部)	2
志津川市街地(高台)	4
歌津(伊里前)地区	6
住まいの復興事業進捗状況	8
復興に向けたこれまでの歩み	12